

■〔投稿〕 2012年4月14日

自己実現を促進させる—マスロー理論による、「教育実践からカウンセリングへの試み」 森下義雄(会員)

●はじめに

人間が持つ自己実現の傾向は人間性心理学の立場より色々な事例を通して確認されています。私が原風景を通してみましたときも同様でした。私はこのことを元 に基本的欲求の満足は自己実現の欲求を引出し自己実現していくとした マスロー理論に元づいて、小学校での教育現場で実践しました。それは、原風景を生み出す教育と基本的欲求満足の教育です。これをこの報告の前半に、後半は、私が次のステージとして展開したいカウンセリングに、これまで小学校での欲求満足の 考え方をもとに進めてきた教育実践が活用できるのではないかと カウンセリングの学びの中で考えたものをまとめてみました。これは「欲求満足の考え方を取り 入れた自己実現に向かうカウンセリング」です。

●まとめ

人は色々経験を経る中で原風景を持ちます。特に幼少期のものは影響が大きいと思われませんが、それを媒体として創造性が働き、エネルギーが湧きでます。多少の差はあっても基本的欲求を満たしながら自己実現に向かう。しかしながら、原風景の中のネガティブのものから脱却できない状態に陥った時、カウンセリングでの言葉によって癒されたり、思考の改変が欲求満足へとつながり、自己実現へと導かれます。原風景でなくても人生の中のそれぞれの場面においては欲求不満足 があり、色々な問題や悩みを生じさせます。しかし、それを解決するのは自己コントロールであり、バランス感覚でもあります。そうしたことができないクライ エントへ、欲求満足の視点を持ち、過去、現在、未来のどの時かに焦点を当て、言葉によっての支援でその人の自己実現を促すことができると考えます。